

エジプトで第二革命、 ヨーロッパ覆うゼネストの嵐

11月30日のイギリスのゼネストは、年金問題だけでなく社会全体を変革する闘いとなった

—福島に怒りに連帯する行動が始まった—

エジプト・タハリール広場を埋め
尽くす結集で第二革命の闘い



今なら野田政権たおせる！ 原発の再稼働とめられる！

原発が定期検査でどんどん止まっていっています（先月再稼働を強行した玄海原発4号機も今月中に検査入り）。それに焦る野田政権は、年明けから原発をどんどんと再稼働させようとたくらんでいます。この12月は原発の停止・廃炉か再稼働かをめぐる重大な正念場です。原発の再稼働を阻止し、全原発を廃炉にするために立ち上がろう。なにより、福島の怒り・思いと連帯することです。福島の人々とともに、12・10日比谷デモに合流しよう。11日に全国各地で行われる反原発行動に立とう。

細野の大飯原発再稼働宣言を弾劾する

11月26日、原発事故担当相・細野豪志が高速増殖炉「もんじゅ」（福井県敦賀市）と大飯原発（同県おおい町）を視察した際、「（関電は）しっかりした対応をしている」と根拠なく高評価した上で、大飯3、4号機の再稼働を宣言しました。断じて許せません。



福島の怒り・思いを受け止めようとし ないのか！

細野は先月12日に福島大学で行われた「ふくしま会議」において、福島の学生を前にして「福島の方が再稼働の問題に関心を持っているのは良くわかった。みなさんの心配

さようなら原発 100日アクション

12月10日（土）

13：30～集会（集会の後にデモ）

東京・日比谷野外大音楽堂

PANTA（元・頭脳警察）

内橋克人さん（呼びかけ人）

鎌田 慧さん（呼びかけ人）

大賀あや子さん（福島から）ほか

も良くわかった。東京などで（原発反対デモや経済産業省前座り込みなどの）行動を起こされていることもしっかりと受け止める」と語りました。それから2週間後に再稼働宣言とは！ やっぱりか、細野！ 福島やその周辺で放射能汚染に苦しむ人々の怒り・悔しさ…をぜんぜん受け止めようとしていない！ 受け止めるならば再稼働はせず、原発を廃止していくしかない！



福大生と坂野全学連書記長が細野を弾劾。細野は原発再稼働について言及せず

全学連

全日本学生自治会総連合（斎藤郁真委員長）

TEL 050-3036-6464 <http://www.zengakuren.jp/> mail_cn001@zengakuren.jp

エジプト・イギリス・ギリシャなどに 続き、私たちの行動で社会を変えよう

福島を見捨てて原発安全を語る野田政権に、私たちの怒りを示すときです。福島の思いと連帯して、原発の再稼働を止める行動に立とう。12月10日から11日の反原発行動で、野田政権を倒そう。

必要なのは、直接行動と、私たちの思いを体現できる組織をつくることです。9月19日の原発反対集会が6万人結集で爆発したのも、労働組合が結集を呼びかけたからです。たった「1%」のために「99%」の未来が奪われている社会を変えようと、世界でも「99%」が団結し始めています。「金儲けを大事にするもの」と「命を大事にするもの」との闘いです。

エジプトでは軍部打倒、民衆の政治権力奪取の「第二革命」が始まりました。ここでも、軸に据わって



エジプトで軍政打倒・民政移管の闘い

るのは青年労働者を中心とした組織です。

ヨーロッパでは、政権を次々と打倒しています。11月24日にはポルトガルで、30日にはイギリスで、12月1日にはギリシャで、労働組合が地域丸ごとのストライキを組織し、年金問題、賃金引き下げ、増税に反対して行動しています。

日本もできます。東北大学では「原発再稼働絶対反対！」を掲げる学生が学生自治会執行部になろうとしています。学生も、世界の闘いに続いて学内から原発反対、野田打倒の行動を起こそう。その行動を組織できる学生自治会をつくらう。そのために、全国学生は12月10日～11日、福島と連帯して反原発行動に立とう。



イギリスで公務員労組中心にゼネスト、ギリシャでも財政危機の労働者への転嫁許さず決起

野田政権は福島に向き合え！ 原発再稼働するな！

福島県労働組合交流センター代表・渡辺馨^{かおる}さん

3・11以来、政府・全行政と東京電力が一貫して背を向け、裏切り続けていることであり、御用学者を動員した『100ミリシーベルト以下なら安全』というキャンペーンはますますひどくなっています。はっきり言って福島の現実『棄民政策』であり、原発を維持するための『捨石』です。

福島第一原発事故をめぐる状況は「収束」ではなく、ますます深刻さを増している。1号機と2号機の間で毎時10シーベルト以上の高放射線量が計測されています。すさまじい被曝労働が強制される中、作業員が死亡しました。しかし東京電力は原発事故と「因果関係がない」と言う。

事故でばらまかれた放射能は、セシウム137で広島型原爆168個分。放射性物質の放出は日々続いています。しかし東京電力は「原発から出た放射能は持ち主がわからない『無主物』であり、除染に責任は持たない」と言うのです。ふざけるな！

福島は戦場です。県外への避難者は10万人を数え、今なお7万人が避難生活を強いられている。県内外に転出した児童・生徒は1万7千人を超え、さらに増えようとしている。放射能は目に見えませんが、今この瞬間にも子どもたちと全福島県民の健康と精神を傷つけ続けているのです。放射能汚染の深刻さは、チェルノブイリの報告を待つまでもなくこれから明らかになっていきます。

フクシマから怒りを「収束させる」ことはできない。これはフクシマが生きぬくための闘いです。ともにたたかって社会を変えましょう！

(生きぬくために闘う！東日本大震災救援対策本部 『救援本部ニュース』第199号より抜粋)

福島大学生

今回の原発事故は絶対に許してはいけません！ 玄海原発の再稼働や原発の輸出を強硬に推し進めようとする現政権の野田は日本国民の恥さらし的な存在であり、被災地の住民を家畜やモルモットのようにしかとらえていないようだ。増税といい国民生活がひっ迫していく中で、貧乏人はより貧乏に、金持ちはより金持ちになる構図だ。11月6日は、「こんな社会・政治体制はもうたくさんだ。労働者の力で日本が変わる。変えていける」と思っている同志が集まりデモを行った。参加して分かったことは、同じ思想を抱く労働者、学生が労働組合・学生自治会をつくり団結すれば、この日本に「革命」の渦を引き起こし、よりよい日本をつくれることだ。

私は10月21日の福島大集会のような集会を開きたい。皆さんの力を貸してほしい。福島大を包囲する集会・デモをやりたい。学生には大学を変える力があると思いたい。知らせたい。恐れさせ、原発推進をあらためさせたい。

「フクシマの怒り」にこたえ、12・10反原発集会へ！